



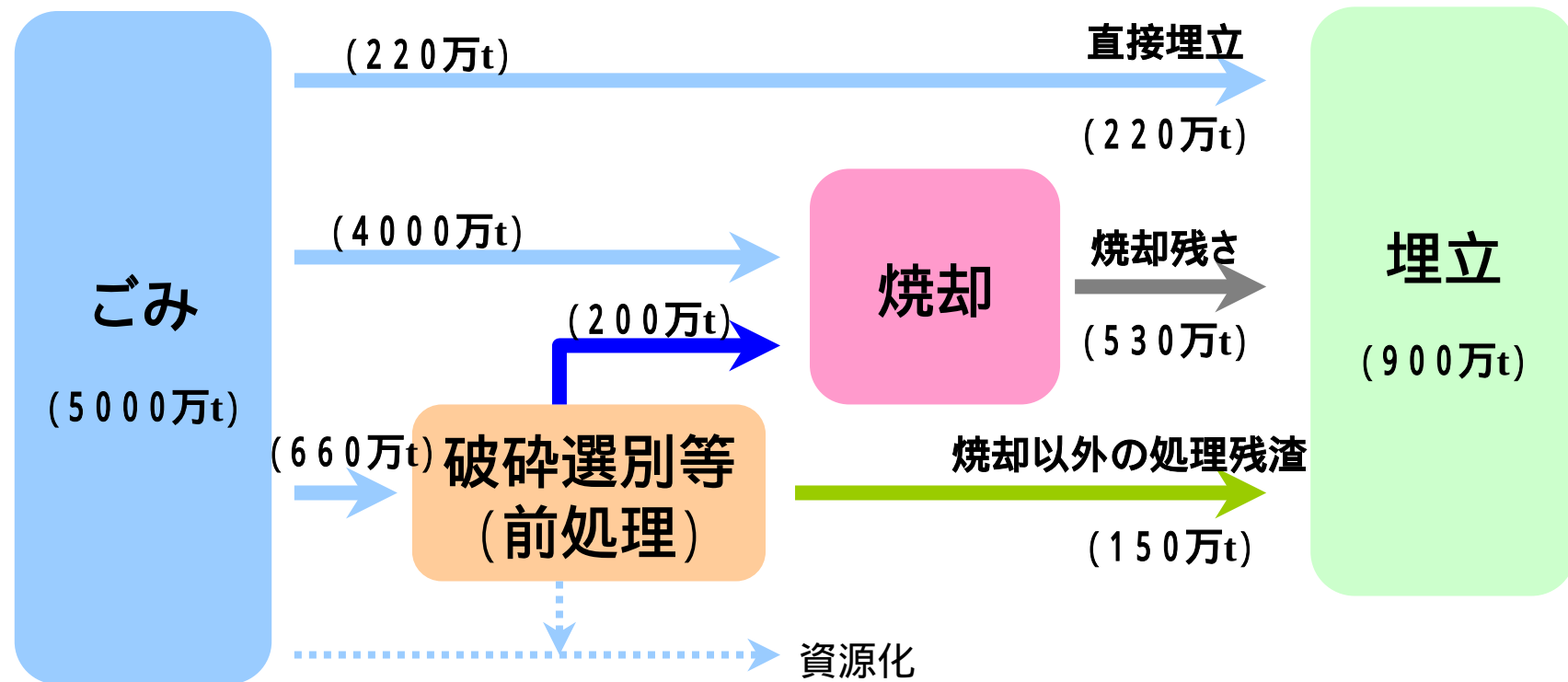
埋立から見た前処理とは (焼却は中間処理の代表)

株式会社エックス都市研究所
山口直久



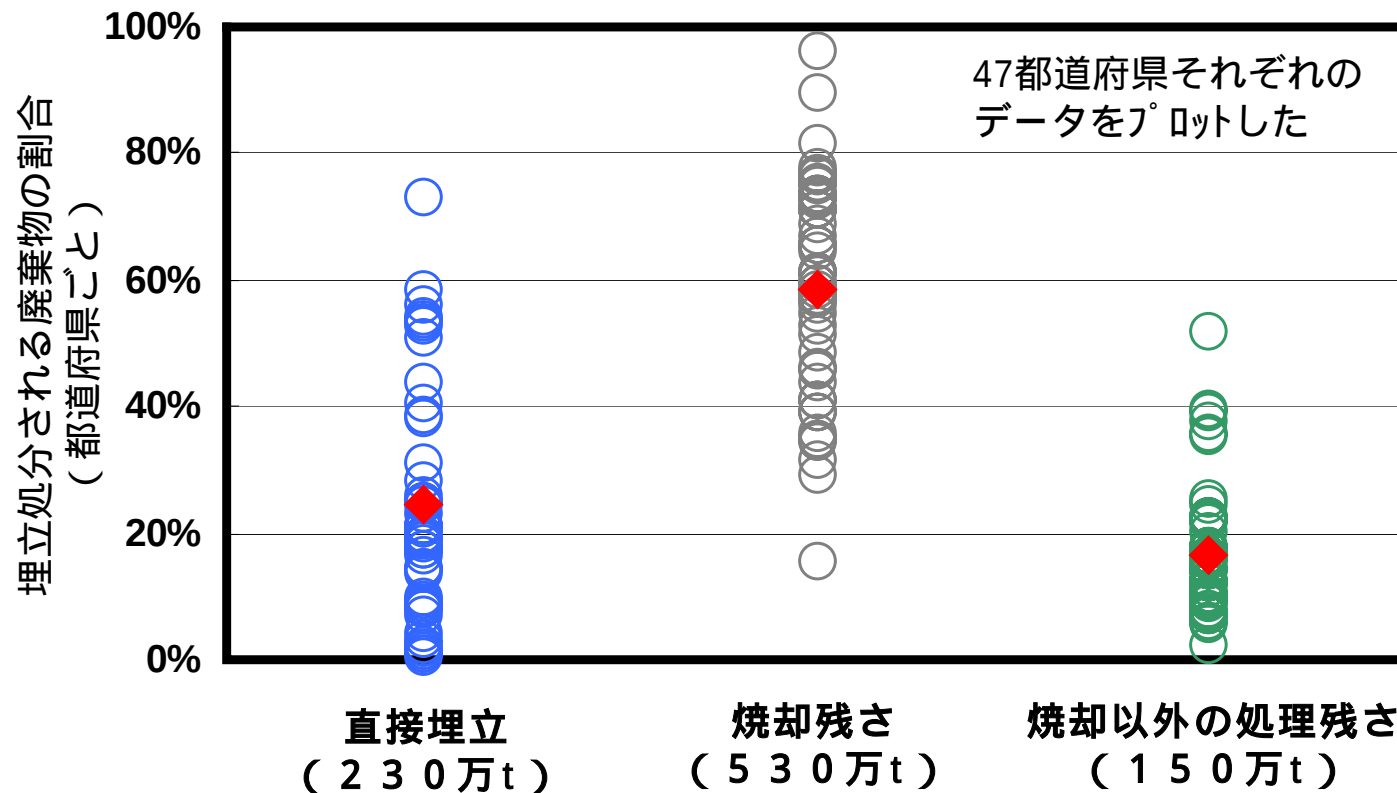
1. 埋立から見た「上流」

一般廃棄物(H14全国実績)



- 「直接埋立」と「焼却以外の処理残渣」は以外と多い。
- 焼却は埋立の「上流」の1つだが、焼却にも「上流」がある。

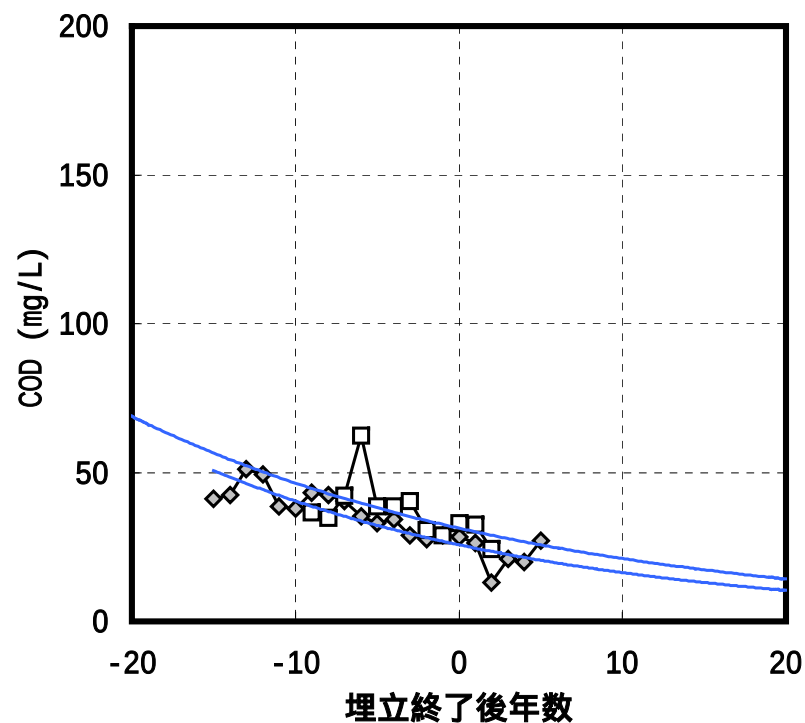
2. 埋立処分される廃棄物のばらつき



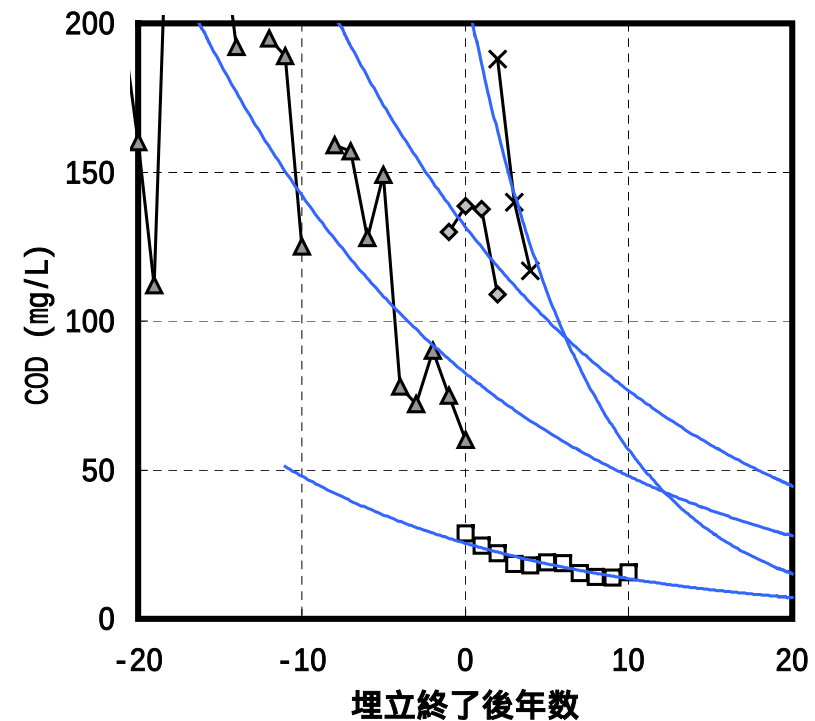
- 埋立処分される廃棄物は自治体(サイト)により千差万別。
- 焼却主体だが、必ずしも焼却残さ主体の埋立ではない。

3. 埋立ごみの違いによる安定化への影響

< 焼却灰主体 >



< 焼却灰 + 不燃物 >



Source: 廃棄物研究財団 (平成14年3月)



4. 焼却と埋立は何を考えてゆくべきか(1)

— 焼却残渣の質のコントロール

- 焼却側 : 安定した焼却残さをつくる
 - 埋立側 : 溶出に備える(フェールセーフ)
溶出をコントロールする(CS)
- } 最適システムは？

— 焼却以外の処理残渣の質のコントロール(1)

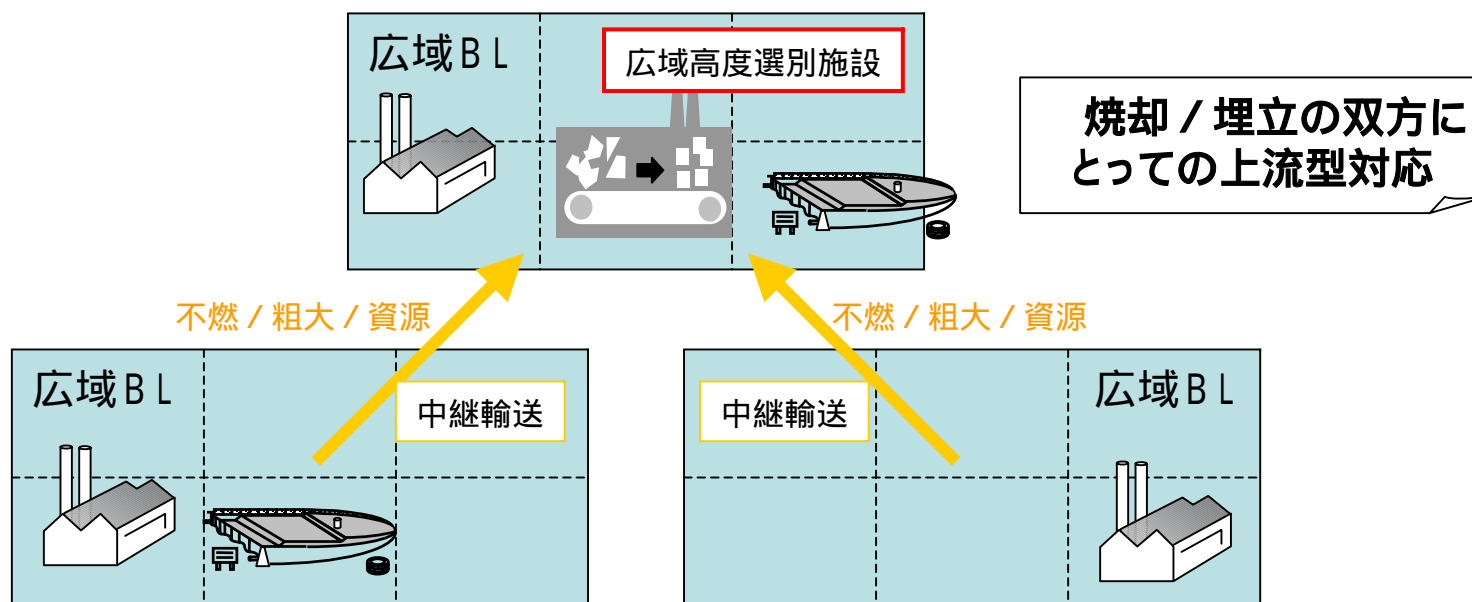
- 破碎選別等の考え方で埋立廃棄物の性状が大きく変わる。
- 破碎選別は焼却だけの前処理ではない。
- 全ての自治体が高度な処理を導入できるわけではない。



4. 焼却と埋立は何を考えてゆくべきか(2)

— 焼却以外の処理残渣の質のコントロール(2)

- 破碎選別施設 / 再資源化施設を含めた広域中間処理



— 埋立物の特性にあった維持管理 / 安定化促進



5 . 塩類について

— 埋立の設計の観点からは

- 塩類が出ても問題にならない場所なら塩類対策不要。
- 塩類が出てきて問題になるのであれば除去 or 埋立前洗浄。
コスト増になったとしても、やむを得ない(他に場所がない)。

— 焼却部会提案：上流側での塩素対策

- バイオガス化により塩類の一部を排水へ移行
- (疑問) 結局、排水の塩類対策が必要になるのでは？